

# TOKYO 商工連 Plaza

とうきょう商工連プラザ

2022

11

vol.368

商工会は 行きます 聞きます 提案します



## CONTENTS

② 自民党の「令和5年度国家予算並びに制度等に対する要望聴取会」  
「制度改正」、「小規模企業振興」、「地域」の3分野、16項目を要望 都連

③ 東京都議会各党に「令和5年度東京都予算」などで要望  
持続可能な未来に向け、中小・小規模企業支援の強化を 都連

④～⑤ <連載>「島おこし・多摩おこし」(トウオンデザイン/大島町)

⑥ 国立市商工会青年部の峯岸さん 関東ブロック・主張発表大会で最優秀賞  
多摩地域商工会エリアの景況(4年度第2・四半期)

⑦ 青梅線で「地酒列車モニターツアー」  
多摩観光フェア開催

⑧ <連載>「商店街の繁盛店」(Ron's cafe/瑞穂町)

何にでも興味を持つ姿勢を常に持ち、  
自らの可能性に幅を持たせたい

トウオンデザイン

共同代表 千葉 努さん・れみさん

関連記事:P4～5「多摩おこし・島おこし」

自由民主党の

# 令和5年度 国家予算・税制改正等要望聴取会 に出席

金融・助成金、税制などの見直しや拡充を行い、多摩・島嶼地域の中小・小規模企業の持続的発展につなげていくべき

▼コロナ感染症は収束には至らないが、行動制限の緩和や外国人観光客受け入れなど人流や経済活動が動き始めている。ただ、長期化したコロナ禍で消費・経済活動が大幅に変化し「新しい日常」に対応できない中小・小規模企業が多い。早急な対策が必要。

▼ロシアのウクライナ侵攻に伴う原油・原材料価格の高騰と電力需給の逼迫に、歴史的な円安の進行が加わり、多摩・島嶼地域の中小・小規模企業の経営環境はますます厳しさを増している。

▼多摩・島嶼地域の中小・小規模企業を支援するために、金融・助成金、税制などを拡充し、見直し、持続的発展につなげていくべき。また、中小・小規模企業には、DXへの対応、働き方改革の推進、省エネや脱炭素化への取組みが不可欠となる。

東京都商工会連合会（都連）は10月7日、東京・永田町の自由民主党本部で開かれた同党東京都支部連合会の「令和5年度国家予算・税制改正等要望聴取会」に出席し、「制度改正」、「小規模企業振興」、「地域」の3分野にわたって、計16項目を要望しました。

山下都連会長は聴取会の冒頭で「私どもが実施している経営動向調査では、2年に及ぶコロナ禍で8割以上の企業が経営にマイナスの影響を受け、今後の事業については約半数の企業が『コ

ロナ前の売上高には戻らないと考えている』との結果が出ています。加えてロシアのウクライナ侵攻は原油価格の高騰、原材料不足を招き、さらに電気料金等の値上げや、急激な円安が中小・

## 令和5年度 国家予算・制度等に対する要望

### I. 制度改正要望

- 一. 原油・原材料価格等の高騰対策及び新型コロナウイルス感染症対策の拡充・強化について
- 二. 消費税制度の見直しと価格転嫁等に対する支援の継続と強化について
- 三. 中小・小規模企業の実態を踏まえた「働き方改革」の実施について
- 四. 地域別最低賃金の決定方法の改善について
- 五. 中小・小規模企業の円滑な事業承継に向けた支援の強化について

### II. 小規模企業振興要望

- 一. 小規模企業の持続的発展に実効性ある支援の拡充・強化について
- 二. 小規模事業者向け融資制度の充実について
- 三. 官公需の更なる中小・小規模企業配分について
- 四. 下請企業の取引価格の適正化について
- 五. 中小・小規模企業の社会保険料の負担軽減について

### III. 地域要望

- 一. 横田飛行場の民間利用促進について
- 二. 多摩地域から羽田空港への鉄道アクセスの強化について
- 三. 多摩地域都市基盤の早期実現について
- 四. 商店街の活性化について
- 五. 島嶼地域の航空燃料、ガソリン価格高騰に対する支援について
- 六. 小笠原空港の早期開設について



▲新たな地域活性化への支援を要望

小規模企業の経営環境を一層悪化させています。私事ですが、私の会社はガス供給事業をメインとしているため円安の影響を直接に受け、値上げによる対応にも限界があるなど、厳しい状況にあります。ポストコロナで新たな日常を定着させていくことが求められています。DXへの対応、事業の継続や承継、創業に対する支援の強化に加え、多摩・島嶼における新たな地域活性化への支援が必要と考えます」と訴えました。

要望のうち「制度改正要望」では、原油・原材料価格等の高騰への対策や新型コロナウイルス感染症対策の拡充・強化、消費税制度の見直しと価格転嫁等に対する支援継続と強化など5項目を要望しました。また、商品やサービスへの適正な価格転嫁ができない小規模企業に対し金融対策や助成金などの継続を要望しました。返済猶予期間が終了する金融支援を継続し、手続きの簡素化、融資実行までの期間短縮、利子補給の期間延長なども求めました。

消費税の見直しと価格転嫁などについては、軽減税率が導入されても対応できている事業者は少ないとし、現在

でも売上が減っている事業者が多いという状況から、インボイス（適格請求書等保存方式）について、事務負担増や導入への準備不足を挙げ、制度導入時期の延期を求めました。

「小規模企業振興要望」では、小規模企業の持続的発展に実効性のある支援、例えば「小規模事業者持続化補助金」のように事業者が活用しやすいものを継続実施するように要望しました。

一方、「地域要望」では、横田飛行場の民間利用促進、多摩都市モノレールの延伸、南武線の延伸による羽田空港へのアクセス強化といった都市基盤整備の早期実現のほか、懸案となっていた小笠原空港の早期実現についても要望しました。

聴取会には、山下真一会長と込山雄茂副会長、奈良部義彦副会長、傳田純専務理事、清水晋事務局長、小林義浩事務局長が出席し、要望を伝えました。山下会長が要望の骨子を述べ、傳田専務が制度改正要望などの重点項目を中心に補足説明しました。

### 調布市商工会

新会長に 渡部完治氏を選出

調布市商工会 会長



渡部 完治氏

調布市商工会は9月22日、臨時総代会を開き、柳澤勇会長の後任として、渡部完治氏を新会長に選出しました。



▲令和5年度予算などで要望  
(都議会自由民主党の予算要望聴取会)

# 持続可能な未来に向け 中小・小規模企業支援の強化を

**都連** 都議会各党に「令和5年度 東京都予算」などで**要望**

東京都商工会連合会（都連）は、9月9日までに、東京都議会の自由民主党、公明党、都民ファーストの会、立憲民主党を訪ね、令和5年度の東京都予算などに対して要望しました。持続可能な未来に向け多摩・島嶼地域の中小・小規模企業を強力に支援するための十分な予算を確保するとともに、多摩・島嶼地域の魅力を観光やビジネスに結び付けて地域の持続的発展に繋げることを求めました。9月8日に開かれた都議会自民党の予算要望聴取会では、「新型コロナウイルス感染症拡大の長期化が消費や経済活動に大きな影響を与え、原油・原材料の高騰や電力需給の逼迫も加わり経営環境は厳しい。さらに喫緊の課題である人手不足、デジタルトランスフォーメーション（DX）対応による生産性の向上、事業承継などの今日的な問題も山積している」と訴えました。

都連が要望したのは、**1・持続可能な未来に向けた中小・小規模企業支援（重点）、2・小規模企業振興（重点）、3・観光振興（重点）、4・ものづくり振興（重点）、5・多摩地域要望の6分野**

の**6分野**（別表）  
18項目です（別表）。  
山下真一会長は、要望聴取会の冒頭で、「都連が実施している経営動向調査をみると、コロナ禍により8割以上の企業がマイナスの影響を受けている。年間売上高でも赤字企業の割合が増加している。この結果、約半数の企業がコロナ前の売上には戻らないと考えていて、3分の1の企業がビジネスの変革が必要としており」と多摩・島嶼地域の中小・小規模企業が厳しい経営環境に直面していると強調しました。そのうえで、とくに「事業継続、事業承継、創業に対する支援の強化と、多摩・島嶼での新たな地域活性化への支援をお願いしたい」と要望しました。

都議会自民党の予算要望聴取会には、山下会長と、傳田純専務理事、清水晋事務局長、小林義浩事務局長が出席。山下会長が基本方針を述べ、傳田専務理事が要望の要旨を説明しました。

## 東京都予算に対する要望

### 1) 持続可能な未来に向けた中小・小規模企業支援（重点）

1. 原油・原材料高騰等への対策と新たな時代に向けた支援の強化について
2. 中小・小規模企業の事業の継続に対する支援の強化について
3. 中小・小規模企業の危機管理に対する支援の強化について

### 2) 小規模企業振興（重点）

1. 小規模企業への支援の更なる充実について
2. 商工会等を中核に支援力を強化した実効性ある支援体制の強化について
3. 中小・小規模企業の働き方改革の実施に対する支援の強化について
4. 消費税の軽減税率制度に対応するための支援の強化について

### 3) 観光振興（重点）

1. 多摩の観光振興を推進する広域的なネットワークへの強化について
2. 多摩地域への観光客誘致について
3. 多摩地域から羽田空港への鉄道アクセスの強化について
4. 島嶼地域の活性化及び観光産業に対する支援について

### 4) ものづくり振興（重点）

1. ものづくり中小・小規模企業への支援の充実について
2. 中小・小規模企業の人材確保支援事業に対する支援の継続について

### 5) 多摩地域要望

1. 横田飛行場の民間利用促進について
2. 多摩地域都市基盤整備等の早期実現について
3. 大規模小売店舗による地域社会への貢献について

### 6) 島嶼地域要望

1. 離島航空路線の便数確保及び燃料への補助制度の支援について
2. 小笠原空港の早期開設について

## 新事務局長



大島町商工会  
植松 隆氏

人事交流	
〔採用〕	〔採用〕
（9月1日）▽福生市業務室 田清美▽あきる野業務矢坂 郁弥	（9月1日）▽大島町事務局 長 植松隆
〔退職〕	〔退職〕
（8月17日）▽国分寺市業務 佐々木啓介	（9月30日）▽大島町事務局 長 浅沼しのぶ
〔退職〕	
（8月31日）▽福生市業務 武藤恵汰	

（地域名は商工会名。業務は業務支援員）



島では一人が複数の役割を担うことはよくあること。何にでも興味を持つ姿勢を常に持ち、自分の可能性に幅を持たせたい。

トウオンデザイン  
共同代表  
千葉 努さん 千葉 れみさん

## この人に聞く 島おこし・多摩おこし 大島町 No.32

一どんな出会いがあって結婚し、さらに、どうして大島で働くことになったのか?これまでの経緯を…。

**努さん:**二人とも東京で働いていて、共通の友人を通じて知り合いました。たまたま職場が同じビルだったことが分かり、よく会うように。結婚したのは2008年です。

2010年に大島にきました。都内で働いていた時は、徹夜で働く日もありました。そんな生活への疑問や、休みの日にリフレッシュのため沖縄の離島を中心に旅行によく出かけました。海に囲まれた離島の独特な世界観と自然が身近にあることに魅力を感じていました。

妻が大島の出身でしたので、大島にもよく行くようになりました。都心からのアクセスもよく、自然豊かな伊豆大島に移住したいと考えるように。ただ、デザイン業だけを島で続けることは難しいと考え、まずは島内での仕事を。探していた時に商工会の存在を知りました。地域の商工業発展のサポートや地域振興に取り組む幅広い仕事に魅力を感じ、まちづくりにも興味があり、商工会の職員になりました。

一現在のお仕事「トウオンデザイン」を始めたきっかけは。

**努さん:**商工会にいた頃は基本的には妻だけがデザインの仕事をしていました。私は職員として日常の業務をこなしながら、自分の可能性に幅をもたせたいという意識を常に持っていました。今も、いつ何が起ころともなかなるよう準備をしておく、というか、勉強したりチャレンジし続けたりする姿勢を大切にしています。島のような過疎化が進む地域では、一人が複数の役割を担うことはよくあることなので、何にでも興味を持つ姿勢は常に持っていたと考えていました。独立して「トウオン(島音)」を立ち上げたのもその流れです。2011年にスタートして、今年で12年目になります。

一ご夫妻でそれぞれ、仕事の担当は決まっているのですか?

**れみさん:**現在は、明確には分けていませんが、ザックリ言うと、私は紙媒体のデザイン担当で、夫は主にWebデザイン担当です。グラフィック関係はそれぞれ案件の内容によって担当分けしている感じです。最近はブランディングや企画などトータルで請け負うことが多いので、プランニングやコンセプトメイキング、ディレクション等は夫の方で担当することが多いです。

**努さん:**もともとWebデザインやプログラミング、サ

ーバー構築や運用などをしていたので、Web関係は企画から制作・運営までトータルで受け持っています。コツコツ積み重ねながら熱中できることが好きなのですが、Webのデザインやコーディングはそんなことの連続ですから、私に向いていると思います。また、常に新しい技術が入ってくるので、勉強し続ける必要があり、それが燃えるポイント?かも知れません。

**れみさん:**七島信用組合さん、観光協会さん、東海汽船さん、商工会さんといった大島の経済や社会活動に大きな影響力をもつ企業や機関とのお付き合いも長くなりました。いずれもWebサイトの制作・運営を中心にお仕事させていただいています。日々のやり取りの中から、地域の課題が見え、可能性が見えてくる。それを見逃さず次に有効に活かして行けるように、何気ないコミュニケーションも大切にしようと思っています。

**努さん:**月に1回ですが、東海汽船さんともミーティングを重ねながら情報交換しつつ、より充実したサイトを目指し取り組んでいます。また、情報発信だけに終わらず、ツアーの企画・運営や、商工会さんと連携して「おおしまマルシェ」というEC(電子商取引)サイトなども立ち上げるなど幅広く事業展開を図っています。

一島の方々との間で距離感を感じられたことはありますか?

**努さん:**私は1ターンなので、よそ者になります。よそ者だからこそ第三者的視点で地域を見ることができて、魅力を感じて伝えられるし、伝えたいと思いました。そんな思いがあったから「伊豆大島ナビ(https://oshima-navi.com)」という情報サイトを作り運営しています。島の方との距離感はないです。それを意識したこともありません。

自分自身では常に可能性を広げたいと思っていますので、なるべく色々なことにチャレンジしようと思っています。これからは自分で常に問いや仮説を立てて自分のビジョンを持って行動していかないと取り残されそうな気がしていて、いい意味で追い込まれながら自分を高めていくことで成長を感じ、それが生きがいへと通じる、そんな感じでモチベーションを上げています。

一できごと、くらし、ヒトを扱うフリーペーパーを出していたというお話を伺いました。

**れみさん:**今は休刊していて、再開の目処も立っていない

いのですが、このフリーペーパーが今の私たちをカタチ作っていると思っています。結婚したばかりの頃に、私が「個人的な活動をしている友人・知人を紹介する冊子をつくりたい」と言って、そこから自費で始めたものです。伊豆大島に移住する前から取り組んでいて、とても小さなフリーペーパーなのですが、自分たちで企画から取材・撮影・編集、デザインまで全てやりました。冊子を置いてくれるお店を増やすため直接営業に行ったりもしたので、とても貴重な経験をさせていただきました。私たちにとって大切な宝物です。

一例えば、10年先には何をやっていらっしゃると思いますか?

**努さん:**今は、テクノロジーの進歩や自然環境の変化などにより先行きの読めない時代。さらに東京諸島は様々な社会的課題を抱えています。そんな中で、未来を考えると、次世代につなげていくことは、簡単ではないのですが、重要な仕事になります。

そんな思いで株式会社TIAMという法人を1月に仲間と設立しました。会社のWebメディア「東京都離島区(https://ritoku.tokyo)」を立ち上げて、東京諸島に関するソーシャルグッドな取り組みを中心に情報を集めて発信しています。

また、隔月で東京大手町のオフィスビルのスペースをお借りして「Be Think」というワークショップイベントも

企画・運営しています。そこでは、毎回テーマを決めて、グループワーク中心のワークショップを開いていて、一緒に考えたり、取り組める仲間づくりやコミュニティを育んだりしています。

そんなこんなで、10年先も東京諸島を中心に色々な場所に移動しながら可能性を広げる仕事をしていると思います。



▲Webメディア「東京都離島区」のセミナー

〒100-0102  
東京都大島町岡田字橋の本135-24  
TEL:090-2476-1645  
URL:http://to-on.info

(表紙参照)

## 職場のメンタルヘルス対策推進キャンペーン

東京都産業労働局

■ポジティブメンタルヘルスシンポジウム(オンデマンド配信) 視聴無料  
【配信期間】11月17日(木)~11月30日(水)

▽基調講演:「ウェルビーイング経営」で社員のモチベーションを高め、健康で活力ある職場づくりを  
武蔵大学経済学部教授 森永 雄太 氏

▽パネルディスカッション:

実例で考える職場でのメンタルヘルス対策~「ポジティブメンタルヘルス」の取組事例を中心に~  
森永雄太氏(武蔵大学経済学部教授)/島津明人氏(慶應義塾大学総合政策学部教授)/中辻めぐみ氏(社会保険労務士法人中村・中辻事務所代表社員、特定社会保険労務士:モデレーターを兼務)/ポジティブメンタルヘルスに取り組む都内企業2社

■オンライン相談会 相談無料

職場内におけるメンタルヘルス対策の進め方などについて産業カウンセラー等の専門家にご相談いただけます。

【相談日】11月28日(月)及び29日(火) 9:30~15:50(1社あたり40分)

【定員】18社まで(要予約)

東京都の「職場のメンタルヘルス対策推進事業」ウェブサイトでお申し込みいただけます。

<https://www.hataraku.metro.tokyo.lg.jp/kaizen/mental/suishin/r4/>

問い合わせ先 産業労働局 雇用就業部 労働環境課 TEL 03-5320-4652



▲最優秀賞の峯岸さん

関東ブロック商工会青年部連絡協議会令和4年度新潟大会が9月13、14日の2日間、新潟県長岡市の「アオーレ長岡」で開かれ、主張発表大会で国立市商工会青年部の峯岸成禎（まさよし）さんが、最優秀賞に選ばれました。都連代表がブロック大会で最優秀賞を獲得したのは2005年以来17年ぶり。11月15日に熊本市で開かれる全国大会に進みます。また、顕彰のネットワーキング部門でも7都県連の中から羽村市商工会青年部の堀江秀徳さんが代表として推薦され、全国大会への出場が決まりました。

主張発表大会には関東ブロック11都県から11人が参加し、内容、構成、表現力などを競いました。峯岸さんは「詐欺撲滅と事業の活性化の実現」をテーマに堂々と主張しました。高齢者の住宅修繕時の詐欺被害の実例や、高額な見積りなどの現状を話し「青年部の建設関係者に声をかけてくだされば、安心できる地元の業者が対応できる」と訴え、国立市では高齢者の被害者が減少

# 関東ブロック・ 主張発表大会で 最優秀賞 全国大会へ!!

令和4年度  
新潟大会  
審査員からは「この事例を全国に行って話し、していることを明らかにしました。」

商工会の組織全体で取り組めば全国の高齢者が安心できる」などと評価されました。審査委員長長講評でも「安心は地元にある」との高い評価を受けました。

峯岸さんは発表大会の終了後「いくつも課題がありますが、ここまで来たら全国も制したい」と意気軒高でした。

- 多摩だより・島だより 12月3日(土)~25日(日) 国立市【くにイルミ】場所: JR国立駅南口駅前広場 内容:イルミネーション 問合せ: 国立市商工会青年部 (042-575-1000)
- 12月3日(土) 大島町【伊豆大島マラソン】場所: 大島町内 内容: フル・ハーフ・10キロコース/絶景の海沿い。緑深い橋トンネルなど変化に富んだハードコース 問合せ: 東京事務局 (ピーアシスト内 042-595-8632)
- 12月4日(日)、10日(土)、18日(日) 三鷹市【ハンドベル演奏会2022「星に願いを!キャンペーン!」】場所: 三鷹駅南口地区商店街予定 内容: 南口地区商店街でのハンドベル演奏会 問合せ: 三鷹商工会商業部会第3ブロック (0422-49-3111)
- 12月中旬~2023年1月31日(火) 三鷹市【市内一斉歳末セール】場所: 三鷹市内全域 内容: 期間中に参加店で買い物をする、デジタルスタンプラリーを活用したセールイベントに参加できる。アプリ「ミイナ!mitaka」でスタンプを取得してプレゼントに応募 問合せ: 三鷹市商店会連合会 (0422-49-3111)
- 2023年1月5日(木)~15日(日) 三鷹市【アールブリュットみたか2023】場所: 三鷹市美術ギャラリー他、三鷹市内 内容: 同時期に開かれる市内一斉歳末セールに合わせて、障害のある方のアートイベントを三鷹市で初めて開催。「まち×ひと×アート」をテーマに芸術作品の展示などを行う 問合せ: 三鷹市商店会連合会・アールブリュットみたか2023事務局 (0422-49-3111)
- 2023年1月15日(日) 予定 新島村【駅伝・ロードレース大会】場所: 新島村内 内容: ランニングイベント 問合せ: 新島村教育係 (04992-5-0203)
- 2023年1月29日(日)~3月末 大島町【椿まつり】場所: 椿プラザ 内容: 初日にオープニングパレード 問合せ: 大島観光協会 (04992-2-2177)

## 中小企業 景況調査

# 多摩地域商工会エリアの景況

仕入価格上昇と新型コロナ感染第7波が重荷に  
製造業はやや持ち直し

4年度  
第2・四半期  
7~9月

### 製造業

売上高前期比DIと採算期中DIは上昇。資金繰りDIは悪化。経営上の問題点の第1位は2期連続「原材料価格の上昇」。

### 小売業

売上高前期比DI、採算期中DI、資金繰りDIのいずれも悪化。経営上の問題点の第1位は4期連続「仕入単価の上昇」。

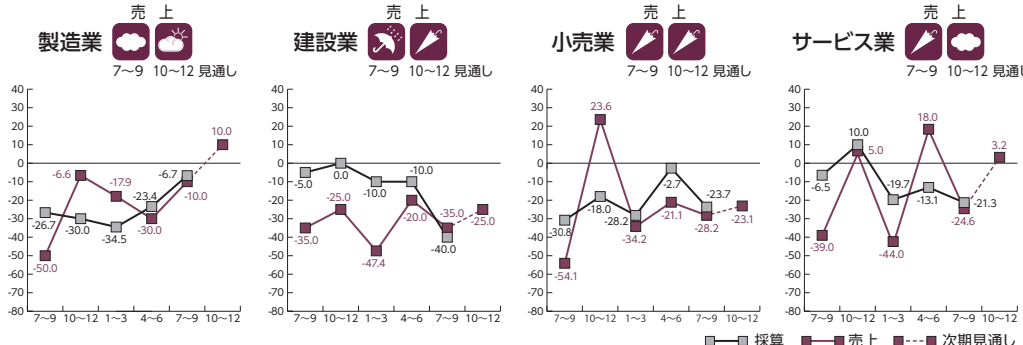
### 建設業

売上高前期比DI、採算期中DI、資金繰りDIのいずれも悪化。経営上の問題点の第1位は6期連続「材料価格の上昇」。

### サービス業

売上高前期比DI、採算期中DI、資金繰りDIのいずれも悪化。経営上の問題点の第1位は2期連続「材料等仕入単価の上昇」。

## 売上高(前期比DI)・採算(期中DI)の推移



## 調査企業の声

- \* コロナに対する制約が緩和されて販売しやすくなり、売上が増加傾向にある。ただし、コロナ前までには回復していない。(調味料製造業)
- \* 材料の入手難等により工事の進捗が遅れて、売上がなかなか立てられない。(木造建築工業)
- \* 原材料価格が上がり値上げしたが、客数が減り売上が下がってきている。電気代等も上がり、これから最低賃金も上がるので、経営がより厳しくなる。(パン小売業(製造小売))
- \* コロナ対策のため、アルバイト従業員を増やすことにした。今後対策経費が増えると予想している。(ごみ収集運搬業)

注1. DI値(景気動向指数)のプラスは好転、マイナスは悪化とみる。  
注2. DIマーク ※: +30~ ☆: +10~+30 ◐: +10~-10 ↗: -10~-30 ↘: -30~-  
注3. サンプルは多摩地域150企業原数値採用。  
注4. 採算は当期中の「好転」-「悪化」のDI値

## 秋のイベント

### 多摩観光推進協議会



▲列車内でのお酒の解説。  
軽妙でウンチクに富んでいました。

の立川駅と奥多摩駅間を往復し、多摩地域を代表する酒蔵である石川酒造、田村酒造、小澤酒造が造る地酒を、沿線の景色を楽しみながら飲み比べるツアーです。今回はモニターとして多摩観光推進協議会の会員、関係者、プレス関係など16人が参加しました。列車が立川を出ると、それぞれの酒蔵が自社の酒造りの歴史や、提供するお酒の特徴などを軽妙な口調で説明しました。お酒が進むにつれて車内の空気がなごみ、隣同士で談笑する姿があちこちでみられました。



東京都商工会連  
合会 多摩観光推進  
協議会は10月8日、  
「青梅線沿線・奥多  
摩 地酒列車モニタ  
ーツアー」を開催  
しました。青梅線

多摩の地酒を飲みながら青梅線・奥多摩を楽しむ

青梅線沿線・奥多摩 地酒列車モニターツアー

多摩観光推進協議会では、一般参加者向け「地酒列車モニターツアー」の第2便を11月18日に運行します。第3便は日程調整中です。

新型コロナウイルスの感染症対策のため、事前に検温や体調確認アンケートを実施。また、車内では向い合うことがないように全席進行方向に向け、前後の2席は空けて座るようにしました。

終点の奥多摩駅の駅前広場ではキャンピングカーの展示や、東京の地酒・地ビール、地元の名産品などの販売が行われました。



▲奥多摩駅前広場で行われた酒販イベントの様子

### 東京多摩観光フェア

## 「やまめの押し寿司」が大人気!

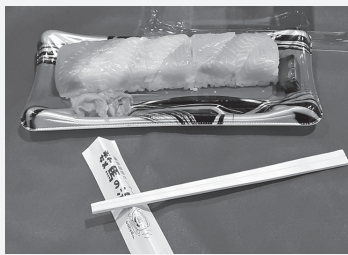
多摩観光推進協議会

東京都商工会連合会 多摩観光推進協議会は9月27日～10月1日の5日間、東京・新宿のJA東京アグリパークで「東京多摩観光フェア」を開きました。多摩地域の観光資源をPRすることを狙いに毎年開催されている観光フェアです。今年も沿線マップや観光図鑑など観光アイテムの配布や、大型立体マップの展示、物産の販売などを行いました。

今回、人気を集めたのが「奥多摩やまめ押し寿司」の販売（テイクアウト）。農林水産振興財団から提供を受けた数馬観光デザインセンターが1日40食だけ作りました。数が少ないこともあって飛ぶような売行きで、奥多摩



▲観光フェアが開かれたJR東京アグリパーク



▲やまめの押し寿司が大人気!

のやまめが多摩の名産品として「しっかりと根付いて欲しい」との生産者の期待を込めてPRしました。

また、あきる野市の野村植産株式会社、西洋野菜のピーツやケールなどを用いたサラダセットを販売しました。新鮮さが受けてこれも午後の早い時間に売り切れとなりました。

黄金井パフのビルドルセ（小金井市）、トウキョウチョコレイトファーム（昭島市）など多摩のスイーツ店や、くんせいチーズのみやび（日の出町）も出店して、女性客が絶えないフェアになりました。

11月末日まで開催

## 2つの回遊型スタンプラリー

多摩観光推進協議会は、11月30日（水）まで多摩地域全域を自転車で巡るスタンプラリー「ライドアラウンドin東京多摩」と、北多摩の5市を巡ってアニメスタンプを集める「TAMA☆ろくと巡礼物語!北多摩TOKYOアニメスタンプラリー」を開催中です。

「ライドアラウンドin東京多摩」は観光スポットを自転車で巡るイベント。スマホにアプリをダウンロードして参加するデジタルスタンプラリーです。例えば14,000ポイント獲得すると10,000円相当の「秋川牛」か「小澤酒造ままごとやペアお食事券」がもらえます。

一方「TAMA☆ろくと巡礼物語!」は小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市の5つの市内に設けられた30の場所でアニメスタンプがもらえる回遊型イベント。スタンプ5枚集めると景品がもらえます。



送別会や歓迎会などの需要に期待  
コロナが落ち着いたら、いろいろな形の集まりを  
仕掛けていきたい

瑞穂町  
Ron's café

オーナー 清水 浩美 氏



2017年9月にオープンしたカフェ。清水オーナーは「5年も経ったのか…。いや、5年しか経っていないのか…。」と笑いながら「どちらも正解ですね」と屈託がない。「商売には苦労があり、またそれを上回る喜びもある。苦しみは長く感じるけど喜びはほんの一瞬」とも。

生まれも育ちも瑞穂町。実家は徒歩5分。知り合い多数という生粋の瑞穂っ子だ。

20年くらい前、瑞穂斎場の建て替え時に、施設の中に喫茶店を作る計画があって、公募に参加したら受かったのが飲食店の経営に関わりをもつきっかけ。15年ほど勤めてリタイアしたが、40代半ばになって「もう一度やりたいな」と商売の虫が疼いた。

叔父さんが住んでいた家屋をリノベーションし、古さをうまく生かした洒落たカフェをこしらえた。イメージは長野の安曇野にあった古民家カフェ。そこを作った設計士さんと大工さんに、松本から来てもらったそうで、これで「本格的な安曇野バージョン(清水さん)」になった。

さて、資金はということになるのだが、多摩地区の商工会議所がやっていた創業塾に通っていた関係で、会議所から政府系金融機関を紹介され、融資を受けた。

ただ、その間、中小企業診断士など専門家から厳しい指摘を受けたという。例えば、事業計画書を創業センターにもっていくと、「あなたみたいな人が潰れる店を作る」と、面と向かって言われたこともあったそうだ。また、中には「瑞穂でやるのは危険。住む人の気質がユツタリしていて、特段くつろげる場所が無くて済む」という見方をまじめに言う人がいて、驚いたそうだ。

実を言うと「その時は瑞穂町に“商工会”があることを知らなかった」と清水さん。「知っていれば、もっと気軽に自分たちの身の丈に合った支援が受けられたかもしれない」という。ただ、店をスタートさせてからは、商工会の経営指導員が折に触れ訪ねて来るようになり、税務申告関係、専門家派遣、持続化補助金などで商工会の支援を受けるケースが増えている。敷居が低くなって「すぐく頼みやすい」という。現在、女性部の一員として活動しているそうだ。

スタートからちょうど5年経って、見えてくるものがある。それは「友人、知人の輪が広がって、応援してくれている人が増えたこと」。そこで、別棟に「ワークルーム」と称する10

人以上集まれる部屋を整備し、時間貸しもできるようにした。またテラス席は小型犬が3頭まで同伴できるようにした。

「女性は、席に座ると長い時間滞在するけれど、必ずと言っていいほど追加注文があるので、そんなに困っていない」と清水さん。「瑞穂にくつろげる場所が出来たじゃない」と微笑む。「送別会や歓迎会などのパーティーの需要も期待できる。コロナが完全に落ち着いたら、いろいろな形の集まりを仕掛けていきたい」と策を練っている。

6月に“お酒飲みながら大人時間を過ごそう”をテーマに、ライブイベントをやってみた。50代の女性を中心に20人ほどの規模だったというが、みんなで盛り上がったそうだ。

9月25日には、雑貨、アンティーク、ワークショップなどクリエイターが集まって「Ron's ikoi市(憩い市)」を開いた。

女性だけのゴルフコンペは6月に5組20人で開催しました。

料理教室も始めた。「親戚の旦那さんが料理学校の先生」と、これもまた女性同士の関係性をフルに活用したイベント。

次の目標は朝という。とりあえず日曜日の朝限定だが、トーストと卵料理、コーヒー。音楽は軽いもの。朝はクラシックが合うんだけど…と、「充実の朝」を目指す。



◀落ち着いた雰囲気の内



▶撮影スポットになっ  
てるモルタル小屋

〒190-1211  
東京都西多摩郡瑞穂町石畑1786-1  
TEL:042-556-5889